

“ 農地・水・環境保全 ” 水土里のネットワーク通信

第139号

2022. 7. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

ルーラル・ミーティング in しまね(R4) ＝循環型社会・食料自給力強化に向けての農業・農村の振興＝

6月3日、4日出雲市において「ルーラル・ミーティング in しまね(R4)」が開催され、県内から行政関係者、多面的機能支払活動組織、土地改良区等から約390名が参加されました。

1日目は、ルーラル・ミーティングに寄せて進藤金日子参議院議員からのビデオメッセージが紹介され、次に、一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 藤山浩所長より「甦る農業・農村の底力～循環革命と田園回帰の時代」と題した基調講演が行われました。



パネルディスカッションの様子

続いて、進藤金日子参議院議員の代理として全国農村振興技術連盟 奥田透委員長より進藤金日子参議院議員の「日本の食料を考える」の資料を基に説明がありました。

最後に、ノンフィクションライターの石井里津子氏をコーディネーターに、講演をいただいた2名に全国水土里ネット土地改良広報センター 牧千瑞所長を加えパネルディスカッションが行われました。循環型社会・食料自給力強化に向けての農業・農村の振興について、意見交換が行われ、会場からも、農家の疲弊している現状や国への要望などの意見が出され、活発な意見交換の場となりました。

2日目は、出雲市斐川町で現地研修が行われ、約150名が参加されました。

先に斐川文化会館で広域組織の活動事例紹介があり、出雲市斐川町農地・水・環境保管理協定運営委員会 杉谷公平事務局長より「活動の円滑な推進に向けた土地改良区の役割」、また、協議会事務局より「活動組織の広域化を行って」と題した「久多美はやさめ会」(出雲市)の事例紹介が行われました。



室内研修会

その後、斐川町神庭地区に会場を移し、農林水産省 官民連携 新技術研究開発事業で開発された「べた～とシート」の敷設作業中の現場を見学しました。

敷設作業をしていただきました「むすび営農組合」の佐藤組合長、出雲市役所斐川農業事務所 錦織課長補佐、小泉製麻株式会社 松下副リーダーから、シートを敷設した経緯、芝を植栽した後の状況、シートの特性などが説明されました。

組織の方からは、「植栽後、草刈りはどうしているか。」「シートの耐用年数はどのくらいか。」など質問があり、説明者からは、「植栽の成功のポイントは、芝の活着と防草効果を持つ特殊な織りのシートの使用。」「シートと法面を密着させる。」など、アドバイスがありました。

斐川町では、田の法面へのシート敷設、芝の植栽の考えはなく、農道などの法面が長く草刈りが困難な箇所にもこれからも実施していくお考えでした。

急傾斜の法面の草刈りに苦慮されている組織、草刈りの省力化を図りたい組織の方に参考となる研修でした。

研修に参加された組織の皆さん お疲れ様でした。



べた～とシート敷設の様子

3日の進藤金日子参議院議員の資料「日本の食料を考える」を同封しています。ご覧ください。

令和4年度活動内容の拡充、様式の変更

■令和4年度活動内容の拡充

資源向上支払（共同活動）の多面的機能の増進を図る活動の中の「60 広報活動」が「60 広報活動・**農的関係人口の拡大**」となり、広報活動の強化が図られます。

これにより「地域外からの呼び込みによる農的関係人口の拡大のため」の広報活動も対象となります。

多面的機能の増進を図る活動

活動項目	取組	取組番号
多面的機能の増進を図る活動	遊休農地の有効活用	52
	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	53
	地域住民による直営施工	54
	防災・減災力の強化	55
	農村環境保全活動の幅広い展開	56
	やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	57
	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	58
	都道府県 市町村が特に認める活動	59
	広報活動・農的関係人口の拡大	60

多面的機能支払交付金の活動に対する多様な主体の参画を促進するために、パンフレット、機関誌の作成・頒布、看板の設置、インターネットのホームページの開設・更新、**地域外からの呼び込み**等の活動を行うこと。

※60番は任意の活動です。組織の活動計画書で60番を選択されているか確認をしてください
 ※拡充された取組ですので、取組まれる前に市町村または協議会事務局へご相談ください。

■各様式に様式作成者及び提出先が明記されます

(様式第1-8号)

【活動組織から市町村に提出するもの】

農林水産省様式

〇年〇月〇日

〇〇市長 様

活動計画書、活動記録、金銭出納簿、実施状況報告書等の書類に様式作成者、提出先が明記されます。

「やったら できた」パイプライン

福の郷下山佐（安来市）

「福の郷下山佐」（再認定時に下山佐活性化委員会から改称）です。初めて投稿させていただきます。

私どもの組織は、安来市広瀬町で約 17ha の農地で活動を行っており、同名の農事組合法人と同じ区域で活動し、うち 10ha が中山間地域直接支払の協定区域となっております。

また、現在、中間管理機構関連農地整備事業を行っており、今回、事業の対象とならなかった頭首工から農地に用水を供給している地区外水路について、老朽化が進み漏水が多くなったこと及び、落石・落葉の堆積により多くの管理時間・費用を要しているため多面的機能支払交付金(長寿命化)を活用して直営でパイプライン化に取り組みました。



作業状況

概要 延長：200m(地区外水路のうち山裾に位置する箇所を計画)

材料：硬質ポリエチレン管Φ300(流量を考慮し波状管と内面平滑管を使い分け)

作業は、5m／本の管材39本を意外とスムーズに半日で敷設することができました。特に波状管はネジってはめ込む方式のため 4 人掛りとなりましたが敷設速度も速く、水路の屈曲にも対応ができ既存の開水路内に確実に敷設できました。（作業の前には、自分たちでできるのかと思いましたが、「案外 自分たちでもできる」と自信になりました。）

内面平滑管はバンドを使用してボトルで締める方式なので、作業に慣れるとともに敷設速度が速くなりましたが、水路の屈曲に対応できないので、敷設できない箇所は管理口として鉄板蓋にて対応しました。



完成後

作業は、日にちを変えて止水壁を打設し、年度が替わってから管路の浮き上がり防止対策等の補完工事を行い、現在 4ha の農地に順調に用水を供給しています。

圃場の給水方式がアルファルファバルブのため、雑物が多くパイプラインに入るとバルブが詰まり止水ができなくなります。雪崩のように山から落葉が落ちてくる現場では、効果がある施工だと確認することができました。

この状況を見て組織内では、同様な箇所はどんどんパイプライン化しようと話を進めています。



落葉の状況



梅雨の大雨のあとには、安全を確認した後に各施設を見回しましょう

- ★日頃より刈り取った草は、川や水路に流れないように適切に処理を行う。
- ★大雨の予報が出たら、河川や排水路の堰き板を取り除いておく。
- ★大雨後は、増水した河川や水路、ため池には近づかず、水位が下がったことを確認してから複数人で見回りに出る。
- ★今までにも問題となったような箇所は特に注意して見回り、状況を把握する。
- ★異状を確認したら、関係機関へ連絡したり今後の対応等の検討を行う。



路肩や法面など崩れやすくなっていますので、十分気をつけて複数人で見回りを行いましょう。



暑い季節がやってきました 熱中症に気をつけましょう

全国的に共同活動中の怪我や事故、農作業中の熱中症事故が多発しています。慣れている作業の中に万が一が潜んでいます。

県内でも、農道の補修中に枕木を持ち上げ、腰の圧迫骨折を負われた方がいらっしゃいました。

今回は、「熱中症予防」のチラシを同封しました。組織内で周知していただき、安全な作業をお願いいたします。

また、活動を行う前には、保険に入るようご検討ください。

※万一、作業中に事故が発生した場合は、第一報を市町村担当者に連絡してください。



～担当者の声～

この度水土里ネット島根に着任いたしました、吉山 海志と申します。今年1月から水土里ネット島根で勤務しており、市役所等で行われる活動組織相談会に参加しました。各市町村にお邪魔させていただき、活動組織の方と色々なお話しをする中で、高齢化、担い手不足など各集落の様々な課題を聞き、地域をとりまく環境は大変厳しいものだと感じました。そのような状況でも懸命に活動していらっしゃるみなさんの姿を見て、私も自分に出来ることを一生懸命やろうという思いになっております。

活動組織の中には何度かお会いしていく中で親しく接していただける方も増えてきて、私も楽しく仕事をさせていただいていたのですが、7月から約2年間東京の全国水土里ネットに出向することとなりました。みなさんの活動に携われないことを大変寂しく思っているのですが、しっかりと勉強をして島根に帰ってきますので、その時はまた組織相談会やルール・ミーティングなどでお会いしましょう。

これから夏を迎えます。作業時には水分補給、休憩をこまめにとり熱中症と怪我に十分お気をつけください。元気に夏を乗り切りましょう。

～多面的機能支払交付金に関することは～

- ◆島根県農地・水・環境保全協議会
〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

- ◆島根県農林水産部農林水産総務課 農山漁村振興室

Tel 0852-22-5119

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

- ◆又は最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。



真田地区資源保全組合
(吉賀町)

全国の活動組織の事例はこちらから



多面事例

検索



「農村ふるさと通信」はこちらから

農村ふるさと

検索

